



# 自分たちの手で楽しくものづくり… 吉岡里の会

◆今回は「吉岡里の会」の会員を代表して、<sup>ひらぬま</sup>平沼 <sup>ひろこ</sup>博子さん(写真中央)を取材させていただきました。

里の会の皆さんは取材当日も活動しており、家で余った包装紙を再利用して、21名の参加者は色鮮やかな人形を制作しておりました。参加者の皆さんは、「楽しい!」と嬉しさを口にし、笑みをこぼしておりました。

また、活動終了後には、会員の皆さんが育てて収穫したブルーベリーを使った、ブルーベリーソースヨーグルトが振る舞われました。



▲今回制作された人形

なごめぐるが利用可能となった昨年4月から活動しており、今年で2年目となります。活動拠点はなごめぐるとし、毎月1回、10日前後に活動しています。1年を通して活動していますが、昆布の仕事をする会員が多いため、7月と8月は活動を休止しています。

**問2. 里の会はいつから活動しているのですか？**

「ご年配の方が積極的に外出するよう促し、みんなで集まって交流を深めたいと思ったのがきっかけです。また、設立当時はなごめぐるができたばかりでしたので、利用することで施設の有効活用にも繋がると思いました。」

**問1. 里の会を設立したきっかけは何ですか？**

**問3. 普段はどのような活動をしているのですか？**



▲楽しみながら人形を制作する参加者の皆さん

現在は、家で余った包装紙を再利用してフクロウや人形等を制作する、『月例お楽しみ講座』を主に行っています。9月には収穫祭を行い、里の会で育てた野菜を使用したカレーライスや春菊のおひたし、新鮮なスイカ等をみんなで食べました。活動終了後は毎回お茶と手作りのお菓子を囲みながら、会員と参加者全員で交流を深めています。